

3/20 明治初期の記憶を伝える資料が市の指定文化財に



月野村非常日誌【有形文化財・古文書】
(所有者：曾於市)



太政官高札【有形文化財・歴史資料】
写真上：五榜の掲示第4札 (所有者：曾於市)
写真下：阿片禁止令 (所有者：恒吉小学校)

市文化財保護審議会の答申に基づき、平成30年3月20日付けで、明治初期に関する資料2件を新たに市指定文化財に指定しました。

1件目は、「月野村非常日誌」です。これは、志布志郷月野村による明治10年（一八七七）の西南戦争時の記録で、西郷軍（私学校軍）からの依頼から始まり、内容は、戦傷病者送りなどの駕籠や馬の割り当て、病院への食料の調達、農兵出兵依頼等が記されています。その後、月野が戦場となると、その間、日誌は白紙となっています。西郷軍撤退後は、政府軍からの依頼が次々と課せられます。

もう1件は、「太政官高札」です。2枚（五榜の掲示・阿片禁止令）あり、いずれも明治初期に恒吉郷に立てられていたものです。これらは慶応4年／明治元年（一八六八）に、明治新政府が民衆に対して守るべき事項を伝えたもので、旧薩摩藩内にはほとんど残っておらず、非常に貴重な歴史資料です。

今回の指定物件は、いずれも大隅郷土館にて展示しています。

3/19 家族経営の協定調印式



3月19日、市役所本庁で「家族経営協定調印式」が行われました。

この協定は、家族による農業経営について経営の方針や家族の個々の役割、就業条件や就業環境について家族で取り決め、実行していくものです。

今回は末鶴家、中村家、片平家、大保家の4組が協定を結びました。式では、市長他2名の立会人のもと、署名を行い「協定書の内容を守り、家族で協力して経営向上に取り組みます」と決意を表明しました。

3/15 自衛隊入隊者壮行会を開催



3月15日、末吉総合センターで「平成29年度自衛隊入隊者壮行会」が開かれました。

今回、曾於市から入隊するのは4人で、当日は3人の入隊者やその家族、来賓の方々が出席しました。

入隊者を代表して、陸上自衛隊に入隊する園田竜大さんが「曾於市出身者であることを誇りに、立派な自衛官として全国で活躍することが一番のお礼だと思います」と決意を述べました。入隊者の皆さんの今後の活躍が期待されます。

4/6 そお星人が決意表明！



4月6日、曾於警察署武道場で「春の地域安全・交通安全運動出発式」が行われ、防犯・交通安全関係団体などから約200人が参加しました。

会に先立ち、輪光保育園の園児による太鼓の演奏とダンスが披露されました。その後、防犯活動などで顕著な実績を上げた交番・駐在所に贈られる『チェスト交番』の表彰式が行われ、岩川交番に表彰状が渡されました。

最後に「関係団体と一致団結し地域の安全を守ります」とそお星人が決意を表明しました。

4/1 弥五郎の里桜まつりを開催



4月1日、おおすみ弥五郎伝説の里で「弥五郎の里桜まつり」のステージイベントが行われ、多くの来場者で賑わいました。

オープニングを飾ったのは大隅弥五郎太鼓で、迫力ある演奏を披露しました。ほかにも、地元の子どもたちによる演奏やダンス、地元のキャラクター『そお星人』『そお太くん』『やごじい』も登場し、会場を盛り上げました。

実行委員長の津曲芳夫さんは「桜まつりといえば『弥五郎の里桜まつり』と言われるように充実していきたい」と話しました。

4/13 尾上さんカヌーで日本代表に！



4月13日、アジアパシフィックレガッタU-16日本代表に選ばれた末吉カヌークラブの尾上楓さん（曾於高校1年）が市長へ報告に來られました。

3月に香川県で選考会が行われ、同年代の選手を圧倒する好成績を残し、日本代表を手にしました。

尾上さんは「うまくスタートを切れれば自信がある。世界規模の大会で結果を残したいです」と話しました。日本代表として出場する大会は、5月にオーストラリアで開催されます。

4/8 洞穴前で奴踊りを奉納



4月8日、財部町の溝ノ口洞穴で「岩穴祭り」が行われ、奴踊りと棒踊りが奉納されました。

この祭りは、毎年お釈迦様の誕生日（4月8日）に近い日曜日に開かれ、今年も当日開催となりました。奴踊りには中谷小学校の全児童11人が参加。2月下旬から週2回1時間程度練習し、軽妙な踊りを披露しました。地元の保存会による棒踊りと刀踊りは隔年で奉納されます。

中谷小2年の松下遥樹さんは「初めてで緊張したけど百点満点の出来栄です」と話しました。